

考え方

(1)

ボールの重さを配列に格納する。配列の先頭と中間, 終わりを示す値を格納する関数をつくる。最初から終わりの重さを全部足す。それで 100 で割れない場合最初から中間までを全部足す。それで 100 で割れない場合中間から終わりまでを全部足す。100 で割り切れない方が最初から中間の場合中間の値を終わりの値に入れ替える。そして新たに中間の値を決める。決め方としては終わりの値と最初の値を足して 2 で割る。100 で割り切れない方が中間から終わりの場合中間の値を最初の値に入れ替える。そして新たに中間の値を決める。これを繰り返し残った値が不良品のボールである。

工夫した点

(1)

配列の最初の値と中間の値と終わりの値を決め利用することで一つの配列で処理を完成させた点。

注意点

(1)

中間の値を再設定するときに double 型でないといけない点。